

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

のんほいの家

グループの名称

のんほいの家づくり協議会

直近採択グループ番号

06-0328-0460

(グループ代表者)

代表者名

太田 英樹

代表者印

代表者所属先

株式会社ヤマセイ

代表者所在地

愛知県岡崎市上三ツ木町字清口8番地

代表者電話番号

0564-57-5757

(グループ事務局)

事務局事業者名

江間忠ウッドベース株式会社

事務局担当者名

高島 英宣

印

事務局郵便番号

443-0036

事務局所在地

愛知県蒲郡市浜町12番地

事務局電話番号

0533-69-3322

事務局FAX

0533-67-9105

事務局担当者E-mail

takashima@ewbc.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		8	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		9	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	9	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		8	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		4	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		6	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		2	棟			
					500	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		1	棟			
					200	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	各委員の希望数を基礎数とし、未経験者に優先的に割り当てた後、申し込み順に割り当て総数にて決定する								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	優良建築物型								
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) のんほいの家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県及び隣県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) のんほいの家づくり協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0328-0460	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	供給地域の気候特性を勘案し夏季における外部からの熱の侵入を防ぐため、屋根には遮熱効率30%以上の素材、もしくは遮熱シートの施工を行う。仕様書に明記する	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	季節風の方向に配慮した開口部配置を行うと共に、各居室には2方向の開口部を設ける	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	軒を出し、夏季には直射日光が室内に入り込まず、冬季には入るような、パッシブソーラの考え方を導入したデザインを行う	○
④①～③の背景	当グループの所在地は愛知県にあり供給予定地域のほぼ全域が地域区分6に該当するため、温暖であることを特徴としている。夏季には外部からの熱の侵入を積極的に対処する必要があるため、効果的と思われる措置を行う	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	伝統的な地域特有の住宅から作成したデザインコードを用いることを推奨し、地域特性に根ざした景観及び街並みの創生を試みる	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域で伝統的に用いられているモジュールを用い、容易に近隣で資材の調達ができるようにする	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: フラット35仕様書を参考にした会の推奨仕様冊子を作成し、会員に配布する	○
②-1 建材・資材調達の共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材をプレカット工場で一元的に管理することによって合理的な品質管理を推進する	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材証明書類をPDFファイル化することにより、電子書類として管理する	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 定期的な勉強会を開催し、合理化についての知見を高めると共に意識の共有を図っている	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 会員の活動を積極的にサポートすると共に、各会員に有益な情報をタイムリーにホームページ等を利用して提供して行く	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: フラット35の施工基準に準拠する	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 基礎の配筋検査・構造検査については瑕疵担保保険の検査及び検査済証明書を受け、完成検査については確認機関の検査及び検査済証明書を受け、施主に提出する	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで取り決めた地域材の標準価格表を元に作成した寸法数量を明確に示した書面を施主に提供する	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工事現場に会の看板を掲げ、コンセプト・活動を認知して貰うと共に、近隣への挨拶等の折り、会の活動案内を配布する	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 会内の審査による年間最優秀作品を顕彰し、概要を公表することで、会員間が切磋琢磨していくと共に、会員にフィードバックする土壌を醸成していく	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 社会保険労務士を講師として勉強会を開催する予定	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を主体とした「安全委員会」の会議とおして認識を高めると共に、定期的に現場パトロールを実施する	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	現場での整理整頓・近隣を含む清掃作業、近隣住民への挨拶の励行などを行い、グループの社会的信用度を高める	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) のんほいの家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県及び隣県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) のんほいの家づくり協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0328-0460	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第3者機関の住宅情報管理システムを利用し、データベース化する	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第3者機関の住宅情報管理システム「いえかるて」を使用する	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当該物件をデータベースにログインし適時閲覧	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引き渡し後30年以上の維持管理計画を策定し一定期間及び災害時等には点検を実施(長期)	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 部位ごとに定めた補修箇所の耐久期間を考慮し適切な時期に補修を行う	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完了承認を施主から得ると共に、完了写真を工務店・施主が保持する	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的に会員の各業者を講師として勉強会を実施する	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域祭りなどに積極的に参加し、DIY教室を開催すると共に会の活動をアピール	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造見学会・新築見学会等を開催すると共に相談会を開催する	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工者を中心とする維持管理委員会を設置する	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主向けの「家づくりのしおり」を作成。事務局では随時相談に応じる体制の構築	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局から施主へ、代替え可能な工務店の紹介を行う	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的な勉強会の課題として実例を取り上げ、防止及び対処方法を研究する	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	建物への関心が重要であることから、グループとしての現場パトロール時の施主との対話調査、施主へのパンフレットの配布、説明会などの機会を利用し施主の意識向上を目指す		○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で施工未経験者向けの勉強会を開催すると共に、事務局が個別に指導を行う	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで用いている基準施工書に準拠して工事をおこなう	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 重要施工箇所の写真をとり、事務局で施工状態を確認・承認する	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工を行う会員にアンケートを採り計画を立案する	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 5年以内に、所属会員企業の現場管理・監理者全員が省エネ講習を受講する	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎年、総会時に各会員の状況を発表する	○
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 65 今年度の参加目標人数 4
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 71 今年度の参加目標人数 7	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局から適時、会員に講習会の告知をする	○
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新技術を取り入れた物件見学会を会員に案内すると共に、情報を会員に伝達する	○
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木質材料の使用域拡大を目指して不燃木材の開発を行う	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	定期的な新商品説明会を開催し、会員の知識を蓄積するだけでなく、合理的な近代的建設への意識向上を目指す		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

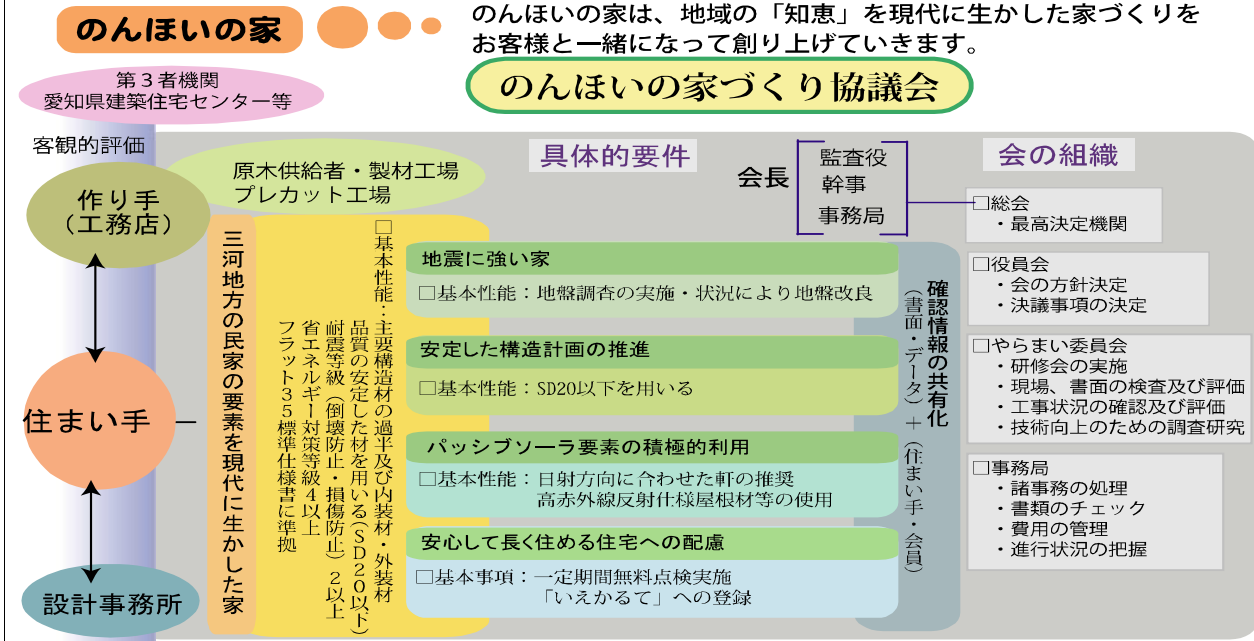
1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) のんほいの家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県及び隣県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) のんほいの家づくり協議会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0328-0460	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	地域材利用に関する共通ルール(必須) 主構造材の80%以上に地域材を用いるとともに、他部位にも15%(構造材の体積比)に使用する。使用材料の明記された地域材証明伝票及び木拾い表・材積計算書を添付する	◎
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須) <input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上	◎
③	標準的な地域材の使用部位(必須) 主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明 	
b		
①-1	地域材在庫把握の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材をプレカット工場で一元的に管理することによって合理的な品質管理を推進する	○
①-2	地域材価格の共有の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 原木市場価格の動きを的確に把握することで、製品仕入れの状態を調整し安定した品質と価格の製品を供給することを目指す	○
②	グループ全体における地域材の需給予測 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材の使用が増加する傾向にある	◎
c		
①-1	畳の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 600枚	○
①-2	和瓦の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 1000坪	◎
①-3	襖の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 200枚	○
①-4	障子の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 200枚	○
②-1	その他地域の伝統的な素材の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 愛知県三河地方は「三州瓦」の産地であることから地域産瓦仕様を推奨している	◎
②-2	その他地域の伝統的な意匠の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 軒の深い地域的構法「セガイづくり」のデザイン採用を推奨している	○
d		
①	地域の伝統的なデザインを継承する取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 供給地域の特徴として切り妻屋根の形状が民家として一般的であるため、切り妻を推奨する	◎
②	地域の住まい方の継承につながる取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 補助対象外の各会員が建設する住宅についても会の推奨する地域型デザインを取り入れることを奨励している	○
③	地域の街並み形成へ寄与する取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 屋根の掛け方を近隣住宅の方向と合わせることで、かいわい性を創出するように努める	○
④	和の住まいの要素を取入れた取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「三州瓦」を用い、軒先を出す構造にすることを推奨している	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 当会の所在する三河地区には天竜三河国定公園三河湾国定公園があり、景観に対する意識の高い場所であることに鑑み、建物の外壁の色を、国立公園内の景観整備項目を参考とし、周辺環境に馴染む配色を推奨する	○
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

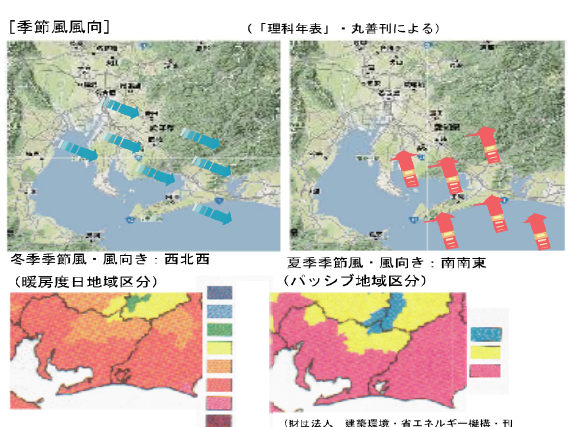
1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) のんほいの家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県及び隣県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) のんほいの家づくり協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0328-0460	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。



三河・遠州地方独特の民家形式（釜屋）
建築的特徴を取り入れた地域型モデル



地域概要及び背景

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。